

## 建築基準法第43条第2項第1号認定及び第2号許可申請添付図書一覧

表

H30.10.9

	図書の種類	明示すべき事項
□	付近見取図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺1/2, 500</li> <li>・方位</li> <li>・敷地の位置（敷地境界線を朱書きで明示）</li> </ul>
□	配置図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺及び方位</li> <li>・申請区域の境界線</li> <li>・敷地内の建築物の用途、延べ面積、位置及び構造並びに出入り口の位置</li> <li>・申請に係る建築物と他の建築物との別</li> <li>・擁壁の位置</li> <li>・土地の高低</li> <li>・建築物の各部分の高さ</li> <li>・敷地の周囲の通路、その他の空地の配置（通路にあっては、位置及び幅員）</li> <li>・敷地に接する部分及びその長さ</li> <li>・敷地内建築物の建築年代及び建築確認の経過等</li> <li>・雨水、汚水の放流経路及び放流先</li> <li>※ 対象となる空地全体が入りきらない場合は、縮尺1/500程度の配置図を別途作成し添付</li> </ul>
	水路挟み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋等の位置、幅員及び水路等の幅</li> </ul>
	住宅建替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路中心線及び水平距離2mの後退線</li> <li>・通路の幅員が1.8m未満の場合、延焼のおそれのある部分の範囲</li> </ul>
□	公図の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画敷地境界線（朱書きで明示）</li> <li>・道路部分は赤色着色、堤は黄色着色、水路は青色着色をおこなうこと。</li> </ul>
□	各階平面図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺及び方位</li> <li>・間取り</li> <li>・各室の用途</li> <li>・開口部及び防火戸の位置</li> </ul>
	住宅建替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通路の幅員が1.8m未満の場合、延焼のおそれのある部分の外壁及び軒裏の構造</li> </ul>
□	立面図 (2面以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺</li> <li>・開口部の位置</li> </ul>
□	断面図 (2面以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺</li> <li>・床の高さ、各階の天井高さ、軒及び庇の出、軒及び建築物の高さ</li> <li>・道等を前面道路とみなしたとき、これを前提として適用される道路斜線制限の検討結果</li> </ul>
	住宅建替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通路の幅員が1.8m未満の場合、延焼のおそれのある部分の外壁及び軒裏の構造</li> </ul>
□	書面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委任状</li> <li>・必要事項を記入</li> <li>・占用許可書等の写し（通行等に河川等を使用することができる旨を証する書面）</li> </ul>
	通路部に民地を含む場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公図に通路部分の明示</li> <li>・通路部分の管理者の通行同意書</li> </ul>
□	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他審査において必要な図書又は書面</li> </ul>

※当該各項に掲げる図書に明示すべき事項を当該他の図書に明示したときは、当該各項に明示することを要しない。